



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずわぜ

都立花畑学園

第 5 号

R6/7/19 発行

花畑学園の学校だより



原点に立ち返って

校長 永島 崇子

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

知的障害教育部門中学部で起きた不適切な指導について、多くのご意見をいただきました。真摯に受け止め、研修や確認、全体周知を確実にし、改善を図ってまいります。そして教職員一人一人が、花畑学園の子どもたちを大切に寄り添っていくことを改めてお約束させていただきます。

4月から7月までの学校生活はいかがだったでしょうか。スポーツフェスティバルや授業参観週間といった、全校一斉の行事も今年度から全面的に戻す形での開催となりました。新型コロナウイルス感染症そのものは学校全体としての流行は今のところありませんが、例年に比べると、RS ウィルスや溶連菌感染症、辛い咳を伴う風邪などが流行しているようです。この夏は酷暑になるという予報も出ておりますので、児童・生徒の皆さんそして、保護者の皆様もどうぞご自愛くださいませ。そして前期再開の9月2日(月)には元気な学園生に会えることを心待ちにしております。

【肢体不自由教育部門 小学部より】

学年主任 和田 瑠世

1年生8名は毎日元気に登校しています。4月当初は初めての学校に緊張している様子もありましたが、今ではすっかり慣れて、毎日楽しく学校生活を送っています。

5月は初めてのスポーツフェスティバルがありました。4月から教職員と一緒にボールの投げ方や転がし方を工夫し、本番に向けて練習を重ねました。本番では、御家族の方に見守られながら、練習の成果を発揮して、見事優勝し、貴重な経験を積み重ねることができました。

6月からはプールでの活動が始まっています。新しい経験にドキドキワクワクしている様子が窺えます。楽しいことも泣き出してしまうようなことも大切な経験。一つ一つの気持ちに寄り添いながら、教員一丸となって支援していきます。

【知的障害教育部門 小学部より】

学年主任 滝澤 雅人

33人の大きな希望とたくさんのドキドキを抱えて入学した1年生ですが、3ヶ月が過ぎ、学校生活にもなじんで笑顔が弾ける毎日です。

初めてのスポーツフェスティバルでは、立派に走り切ったり玉入れができたりしました。御家族の方が見守る中で、緊張や不安そうな表情も見られましたが、最後まで頑張り、学校行事で貴重な経験をまた一つ積み重ねることができました。

初めてのプールは、水着の入ったプールバックをもって登校することが嬉しくて、朝から期待感でいっぱいでした。プールサイドでの水慣れや、水の中で歩いたり浮いたり、この時期にしか経験できない感覚を楽しみました。

これからたくさんの初めてにチャレンジして、「おひさま」のようにキラキラと輝けるエネルギーいっぱいの子供たちとなるように、教員一同日々丁寧に支援していきます。